LRQA
Your Risk Management Advantage

# ISO 45001 審査プロセス

CLIENT INFORMATION NOTE

## 概要

本 CLIENT INFORMATION NOTE (CIN) では、ISO 45001 労働安全衛生 (OHS) マネジメントシステムの審査および認証に関する LRQA のプロセスの主なステージについて説明します。

通常、審査プロセスには、承認の提言に進む前に、2 回の個別の審査活動が含まれます。その審査活動は以下の 2 つです。

- ステージ 1（文書のレビューおよび審査の計画）
- ステージ 2（初回審査）

当社が認証登録証を発行した後は、認証を再度維持するために定期定期審査を実施します。

毎回の審査では、審査員はオープンかつ協力的に実践的なアプローチをとります。当社は、こうした方法により、審査プロセスに付加価値を与えていると考えています。

認定の条件の下で可能かつ許可されている場合は、Skype や TEAMS などの合意済みの情報通信技術（ICT）を使用した遠隔技術による審査を、当社の標準の審査方法とします。リモート審査の詳細については、「リモート審査 CLIENT INFORMATION NOTE」 を参照してください。

審査前に、審査日、開始と終了の時間、審査チームのメンバー、審査期間、クライアントのビジネスのうち審査対象となる領域について話し合い、合意します。審査は、別段の合意がない限り、クライアントの国の言語での実施および報告となります。

## ステージ 1 - 文書のレビューおよび審査の計画

### 審査の目的

この審査の目的は次のとおりです。

ステージ 1 審査では、文書化された規格の要求事項の達成を判断します。ステージ 1 を無事に終了した場合に、ステージ 2 審査の実施が可能となります。

- リスクと機会の特定、該当するコントロールの効果的な導入およびマネジメントを実施するために必要な手法および評価や対応プロセスを審査します。
- ステージ 2 審査の計画を当社が作成できるように、クライアントの会社の組織、プロセス、および活動に関する情報を収集します。
- ステージ 2 審査の適用範囲、審査チームの要件および時期を確認します。
- 当社のサービスに関するクライアントからの質問に回答します。

当社は計画時のエレメントを重視しており、ここには次の内容が含まれます。

- リスクと機会の特定におけるシステムの有効性
- 関連するリスクおよび機会を評価した方法
- 関連するマネジメントプログラムとともに、必要な管理措置および改善目標を計画する方法

この審査では、ステージ 2 審査の前の是正が望まれるシステムの弱点や欠落を特定します。

### ステージ 1 の実施

審査はオープニングミーティングで始まります。審査員は、マネジメントチームに当社がどのように審査を実施するかを説明し、クライアントは会社について紹介いただきます。審査員は審査の計画についてクライアントと合意します。

その後、審査員は次のことを行います。

- ステージ 1 がオンサイトである場合は拠点の視察を実施し、オフサイトの場合で適切と考えられる場合は、拠点計画のレビューまたは拠点のビデオ（バーチャル）視察を実施します。

- ステージ 2 の初回審査のための詳細な審査計画を作成します。
- 肯定的な結果と、ステージ 2 の審査前に対応が必要な問題の両方を記述した、焦点を絞った報告書を作成します。報告書では、これらの問題のグレードについて、ステージ 2 審査終了時に未解決の指摘事項として特定します。

審査員は、通常、以下をレビューする必要があります。

- 利害関係者の特定を含む**組織の状況**
- **労働安全衛生（OHS）方針**
- **OHS 上のリスクと機会の特定（そのアセスメントとマネジメントを含む）**
- **適用される法的およびその他の要件へのアクセス**
- **目標と OHS のマネジメントプログラム**
- **OHS のパフォーマンス測定および報告書作成**
- **内部監査プログラムおよび報告書**
- **特定されたものを統制および管理する手順**
- **OHS のリスクおよび機会**
- **緊急時対応計画**
- **是正処置やマネジメントレビューを含むシステムの運営管理**
- **拠点活動** – 拠点のレイアウトと状態および進行中の操業と活動の観察、潜在的ハザードとリスクの確認、現行の管理措置と OHS パフォーマンス測定や指標の特定、ステージ 2 審査に向けた習熟。審査を ICT を用いて実施する場合は、バーチャルな拠点視察としてライブ・ストリーミング活動として行いますが、必要に応じてクライアントが事前に録画することも可能です。

ステージ 1 審査は、審査報告書を提出し、安全衛生（PPE）、セキュリティおよび管理上の問題を含む審査プロセスの次の段階について合意するためのクロージングミーティングで終了します。

クライアントの組織が、スタッフ、または委託事業者とスタッフを関与させて大規模な保全作業を管理している場合、ステージ 2 審査は、保全のための大きなシャットダウンに合わせて調整される場合があります。これは、審査員によるハザード内容の評価および評価可能だと考えられる適用される管理の複雑性に基づきます。

ステージ 1 審査でレビューされた文書は、将来の審査のベースラインとして使用されます。ただし、内部の改善活動の結果に応じて、システム文書は継続して修正する必要があります。当社は審査の都度、ベースラインと最新の問題間の変化を特定しなければなりません。

## ステージ 2 – 初回審査

### 審査の目的

この審査では、審査員は、クライアントのマネジメントシステムがどのように実践に取り入れられているか重点を置きます。ステージ 2 の訪問では、次の項目の確認を目指します。

- 利害関係者の特定を含む組織の状況。
- 労働者の参加および協議など、組織のリーダーシップのコミットメント。
- クライアントの方針、目標、プログラム、手順が効果的に実践されているか。
- 改善のための計画的かつ体系的なアプローチがあるか。
- 特定された OHS のリスクと機会をマネジメントシステムで効果的に管理しているか。
- マネジメントシステムは、組織の状況と適用範囲に合った審査規格のすべての要求事項を満たしているか。

### 訪問の実施

審査期間が 2 日以上の場合は、可能な限り必要に応じて、審査の最大 50% を遠隔で行います。

保全のための大規模なシャットダウンに合わせて調整された可能性のある審査は、ステージ 1 審査期間中に作成された計画に従います。審査チームのメンバーは、審査に立ち会って指摘事項を確認し、審査を支援するガイドとともに領域を審査します。ステージ 2 審査には、通常、マネジメントシステムの全体的な責任を有するシニアマネジメントの代表者とのミーティングが含まれます。

審査チームは、最低限、以下に関連する所見を報告します。

- ステージ 1 審査時の指摘事項のフォローアップ
- 審査において合意済みの適用範囲で特定された活動、製品、サービス
- 法令遵守、継続的改善、安全衛生に関連するリスクと機会の管理などの組織の方針を達成する上でのマネジメントシステムの有効性
- OHS リスクと機会を管理するための取り決めの実践
- マネジメントプログラムを通じて目標を達成するための進捗
- マネジメントシステムで必要となるシステムの実践および文書化された適切な情報の保管
- マネジメントシステムがどのように機能し、目標が達成されているかを評価するための監視および測定の取り決めの実施
- シニアマネジメントがマネジメントシステムにどのように関与しコミットしたか、OHS マネジメントシステムの作成と導入において従業員がどのように協議し参加したか
- 内部監査、是正処置、マネジメントレビューのプロセスの有効性

審査チームは、クライアントと毎日レビュー会議を開催し、審査での所見について話し合います。これらの所見の受け入れを確認するために、適切なスタッフが立ち会う必要があります。所見をどのように定義するかについては、以下の「報告書作成」セクションを参照してください。当社は、より多くの証拠の入手が見込まれる、審査終了時に所見のグレードを確定します。

審査は、所見の概要を提示し、審査プロセスの次の段階について合意するための最終会議で終了します。審査員は、管理責任者に完全な報告書を提供します。当社が重大な不適合を何も報告しておらず、軽微な不適合に対する是正処置案をクライアントが審査員に報告した場合、審査員は ISO 45001：2018 への承認を提言します（当社事務所による独立したテクニカルレビューを条件とします）。しかし、重大

な不適合が報告された場合は、実施された是正処置とその有効性を審査するためのフォローアップ審査を行うまで承認を保留しなければなりません。

フォローアップの調整については、当社のチームリーダーとクライアント間で合意します。

## 定期審査

### 審査の目的

当社は、クライアントのマネジメントシステムを認証した後、定期審査プログラムを開始します（通常、最低でも12か月ごとに実施します）。しかし、クライアントが長期にわたるシャットダウンによる保全を実施する場合で（自社のスタッフか委託事業者による実施）、その期間がステージ2審査の期間と一致しない場合、当社はこの活動に対応するための定期審査を調整する場合があります。

定期審査は、承認されたマネジメントシステムが継続して以下を実施していることの確認を目的とします。

- 審査の判断基準、組織の状況、および必要な適用範囲に則って維持されているか。
- 運用中であるか。
- 継続的改善を提供しているか。

また、システムまたは組織の状況への変更による影響も考慮します。こうした変更は、活動、製品またはサービスの変更、もしくは事業環境の変化の結果に応じて実施された可能性があります。

その後、引き続き認証要件が満たされているかを検討します。

### 審査の実施

定期審査の適用範囲は、通常、前回の審査時にクライアントとの間で合意します。詳細は開始時のミーティングで確認します。

審査は、少なくとも1年のうち1日はオンサイトで実施する必要があります。年間では、全体の定期審査の少なくとも50%を運用活動のオンサイト審査として実施する必要があります。残りの定期審査については、リモート審査ICTを活用することが可能です。

選択された領域で、当社は以下を確認します。

- 組織の状況に関する変化
- 内部審査・マネジメントレビュープロセス
- マネジメントプログラムの運用方法およびOHS目標を達成するためのそれらの進捗状況
- 顧客の苦情を含む是正処置プロセス
- システムの変更およびその導入による有効性
- 主要担当者の責任および権限に関連する変更の管理方法

また、未解決の所見およびLRQAおよび認定マークの使用方法についてもレビューします。

定期審査中に軽微な不適合を報告した場合は、通常は次回定期審査時にその点をフォローアップしますが、それ以外の場合はフォローアップについての手配をします。

定期審査中に重大な不適合を報告した場合は、必要な是正処置をフォローアップするための特別審査を手配します（通常は3か月以内）。これは承認プロセスにおける当社の一時停止と取り消しの最初の段階です。

最後のミーティングでは、当社の審査員が今回の審査について報告し、次回の審査のテーマについて同意します。重大な不適合が報告された場合、審査員は、クライアントが実施する予定のフォローアップについても合意します。

## 更新審査

### 更新審査の計画

当社は、前回の定期審査でクライアントと合意した計画で、3年ごとに更新審査を行います。

更新審査の計画プロセスには、レビュー、プレビュー、計画の3つの手順があります。

### レビュー

このステップには、次のような過去のパフォーマンスのレビューが含まれます。

- 苦情やその他のパフォーマンス指標に関するトレンド情報
- システム文書の改善
- 改善ログプロジェクト
- 審査から得た教訓
- 当社の所見の傾向

当社の審査員は、過去のパフォーマンスのレビューに基づき、現在のマネジメントシステムにおいて、戦略と目標を成功裏に実施することに対する潜在的なリスクを特定します。

### プレビュー

このプレビューの目的は、クライアントの戦略と目標に合わせて審査活動を調整することです。審査員は、シニアマネジメントとの会話を通じて、ビジネス・リスクや運用リスクなどの戦略上の問題、競争上の問題、社内外の環境の変化など、クライアントのより長期的な予想を理解します。審査員は、面談を通じて、これらの予想、目標、および戦略が、クライアントのマネジメントシステムまたはクライアントの組織の利害関係者に影響を与えるかどうかを確認します。

プレビュー段階では、今回の更新審査および次の3年サイクルで使用可能な追加のテーマを特定します。

### 計画

次のステップは、更新審査の審査の計画です。審査のこのステップでは、審査員は次のことを行います。

- 定期審査期間中に適切に対処されなかったシステムのあらゆる側面の特定およびそれらをレビューする方法を計画します。
- レビューおよびプレビュー段階で得られた情報を用いた計画プロセスを支援します。
- 必要に応じて、特定されたテーマに注意を払う最善の方法を検討します（継続的改善ログを含む）。

- 審査する活動、プロセス、部門、領域を特定します。
- リスクに応じて、上記のそれぞれの合理的な審査期間についてクライアントと合意します。
- リソースの最適な使用方法の特定に努め、重複を回避します。
- 報告書作成、報告書の統合および表示に必要な適切な時間を追加します。
- 情報を合理的な審査計画に統合します。

審査員は、関連するすべてのマネジャーとの話し合いや、関連するすべての部署の記録のレビューのための時間を設けます。

## 更新審査の訪問の実施

更新審査の審査はステージ 2 審査と同様の方法で実施し、審査期間が 2 日以上の場合は、リスクレビューに基づいて審査の 50% を遠隔にて実施します。また、クライアントのシステム文書もレビューし、次のことを確認します。

- 組織の状況の中でのビジネスのニーズおよびクライアントの利害関係者のニーズと期待に継続して応えているか。
- 継続的改善を含め、認証の適用範囲および認証要件に適合しているか。

## 承認内容の変更

認証登録証を拡大または縮小する場合は、正式な変更申請を提出してください。LRQA は、申請をレビューする際に次のことを検討します。

- 審査チームの能力要件への追加または変更
- 審査期間に関する要求事項の追加または削減

また、すべての変更については修正された契約でクライアントに通知されます。

要求された変更が、文書化されたシステムの大幅な変更または追加を意味する場合は、当社は別の文書レビュー審査（ステージ 1）を実施します。

登録変更審査は、ステージ 2 審査のプロセスに沿って行いますが、通常は正式な審査計画は作成しません。文書のレビュー（ステージ 1）を実施する必要がない場合は、審査中にチームリーダーが関連する文書をレビューする時間を確保し、審査の計画に合意します。

登録変更のための審査は、個別の審査として実施することもできますし、予定された審査（定期または更新審査）と組み合わせて実施することもできます。

LRQA は、現在の認証登録証と同じ有効期限を使用し、修正した認証登録証を発行します。

## 報告書作成

当社のすべての審査の報告書作成プロセスは類似しています。審査報告書には、審査計画に対する所見、進捗、肯定的なコメントに加え、明確にする点や解釈のポイントを記録します。当社は、審査の所見を記録し、重大な不適合または軽微な不適合として特定します。これらの所見は次のように定義します。

**重大な不適合：**以下の 1 つ以上のマネジメントシステムのエレメントの実施および維持の欠陥または欠如、もしくは入手可能な客観的証拠に基づいて、マネジメントが以下を達成することに大きな疑問を生じさせる状況です。

- 組織の方針、目的または公的コミットメント
- 適用される規制要件の遵守
- 該当する顧客の要求事項への適合
- 審査項目の成果物の適合

一般的に、重大な不適合とは、以下を伴うシステムの欠陥です。

- システムの有効性または成果物にすでに影響を与えている場合。
- マネジメントシステムの実現能力を危険にさらしている場合。
- 即時の封じ込めが必要である場合。
- 根本原因の分析と是正処置が直ちに求められる場合。

当社のチームリーダーがフォローアップの手配をします。

**軽微な不適合：**導入され、維持されているシステムの弱点を示す所見のうち、マネジメントシステムの実現能力に重大な影響を与えていない、またはシステムの成果物へのリスクはないものの、システムの将来の実現能力を保証するために対応が必要となる所見です。

一般に、軽微な不適合とは、内部の対応プロセスまたは手順における弱点、またはコントロールのさらなる弱体化によりシステムの有効性が失われる結果が合理的に考えられる場合です。根本原因の調査および是正処置が必要となります。

審査時に指摘され、認証の発行につながる場合、審査員はクライアントが実施する予定の是正処置を提示するように依頼します。この是正処置計画は、認証登録証が発行される前に、当社の事務所が行う個別のレビューの一環となります。定期審査で指摘された場合、訪問後の適切な時間内に是正処置を講じる必要があるとしても、通常は、次回の審査まで、その措置の詳細を提供する必要はありません。

いずれの場合も、次回の審査で審査員が実行された行動を確認し、報告書内の是正処置のレビューセクションに記入します。

当社のすべての審査報告書は 3 年間保管するようにしてください。例外的な状況で、当社から過去の報告書の写しの提出を依頼することがあります。

実施したプロセスの効率性を改善するために、準拠したマネジメントシステムに対して導入可能な改善の提案は、以下のいずれかに記録します。

- 戦略的な改善提案についてはエグゼクティブ・サマリー
- 特定の領域に関連する改善提案については報告書の本文

## サンプリング

活動の領域において問題が特定されなかった場合も、それは問題がないことを必ずしも意味するわけではないことを認識することは重要です。審査作業はサンプリング手法に基づいて行われるため、統計的には、審査中に問題が特定されない可能性が常にあります。クライアント自身のマネジメントシステムを審査する場合はその点を考慮してください。

## 機密保持

当社は、クライアントの組織に関して収集した情報（報告書の内容を含む）を、クライアントの許可なく（認定機関が要求する場合を除く）他のいかなる人物または組織にも渡すことはありません。

LRQA では、個人情報のセキュリティを非常に重視しています。詳細情報

## 追加情報

御社がパフォーマンスを向上させ、リスクを軽減するために LRQA がどのように支援できるかについては、当社のウェブサイト www.lrqa.com をご覧ください。ウェブサイトでは、国別のウェブサイトを訪問し、クライアントの国の LRQA についての情報を知ることも可能です。

## お問い合わせ

詳細については、
**https://www.lrqa.com/ja-jp/**
をご覧ください。

**LRQAリミテッド**
〒220-6010
横浜市西区みなとみらい2-3-1
クイーンズタワーA10階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。
LRQA は、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。詳細については www.lrqa.com/entities をご参照ください。© LRQA Group Limited 2022

Your Risk Management Advantage